

USER MANUAL

Abbey Road Orchestra: Basses

目次

はじめに	1
ダウンロードとインストール	2
SPITFIRE APPの設定	4
専用プラグイン	5
概観	6
プリセット・セレクタ	8
メイン・コントロール	10
テクニック・セレクタ	13
テクニック・エディタ	17
シグナル・ミキサー	19
エフェクト	22
トップ・メニュー	24
マイク・シグナル	32
テクニック	35
レガートの比較と用法	39
ロングとショートと比較と用法	42
付録	44
FAQとトラブルシューティング	44
デフォルトのCCマッピング	50

はじめに

Abbey Road Orchestra Bassesは、かつてなき本物に近いサウンドを実現し、比類なき重厚感と深みをサウンドスケープにもたらしめます。

広範なアーティキュレーションと強化されたレガート・テクニックで構成されたこのライブラリは、過去70年間に最も広く知られた楽曲やスコアの数々を生み出してきたAbbey Road Studio Oneで収録され、オーケストラにベースがもたらす圧倒的な存在感と確かなリズムを讃えるものです。

動作環境

Mac

- macOS 11~14
- 最小: 2.8GHz i5 (クアッドコア)、8GB RAM
- 推奨: 2.6GHz i7 (6コア, 2019)、16GB RAM、Apple Silicon
- SSDドライブ推奨

Windows

- Windows 10および11 (最新のサービスパック、64ビット)
- 最小: Intel 2.8 GHz i5 (クアッドコア) またはAMD Ryzen 5、8GB RAM
- 推奨: Intel 2.6 GHz i7 (6コア, 2019) またはAMD R7 2700、16GB RAM
- SSDドライブ推奨

- ダウンロードサイズ 53.62GB (PRO)、2.46GB (CORE)
- 専用プラグイン (AU, VST2, VST3, AAX)

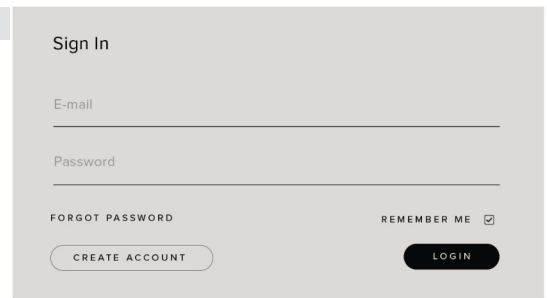
⚠ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

ダウンロードとインストール

Spitfire Audio Appを[ダウンロード](#)すると、アプリを通じてライブラリをダウンロードできるようになります。

THE SPITFIRE AUDIO APP

アプリを起動して、弊社のWebサイトと同様にログインしてください。



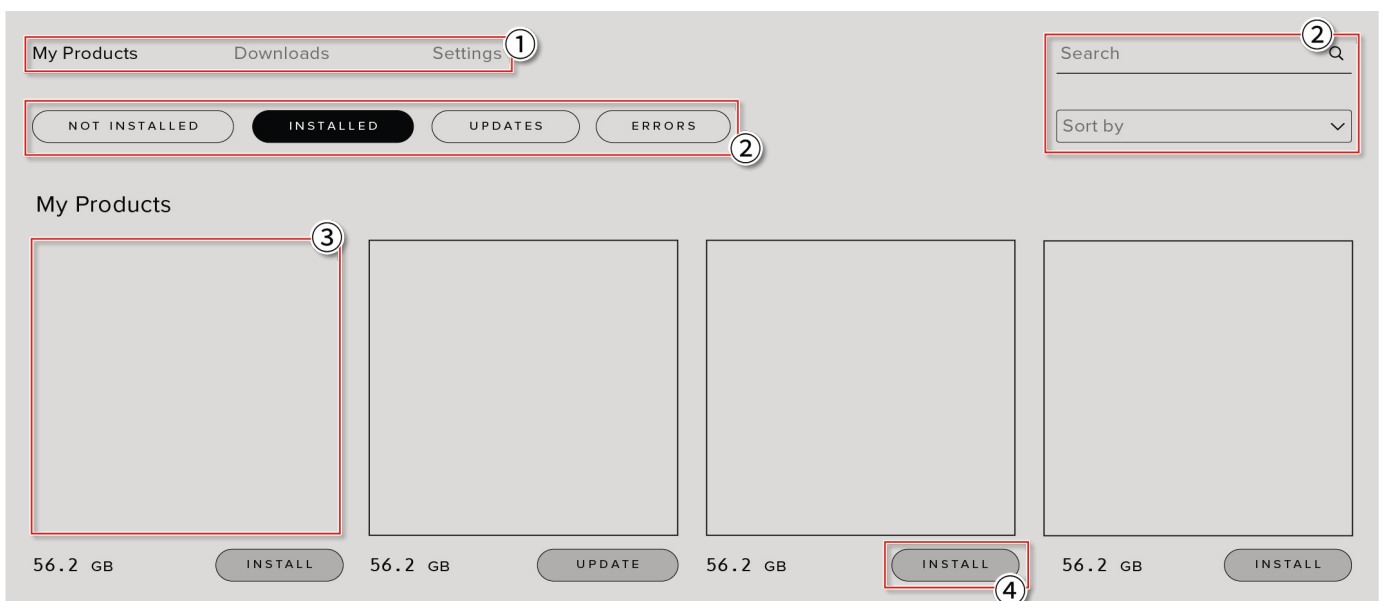
Sign In

E-mail

Password

[FORGOT PASSWORD](#) [REMEMBER ME](#)

[CREATE ACCOUNT](#) [LOGIN](#)



My Products Downloads Settings ①

NOT INSTALLED INSTALLED UPDATES ERRORS ②

Search ②

Sort by

My Products

56.2 GB INSTALL 56.2 GB UPDATE 56.2 GB INSTALL ④ 56.2 GB INSTALL

③

① タブ

デフォルトは**My Products**です。**Downloads**には、ダウンロード中の製品が表示されます。

② フィルタ

フィルタをクリックして、まだインストールされていない製品、インストール済みの製品、利用可能なアップデートが表示されます。再度クリックしてフィルタを解除します。

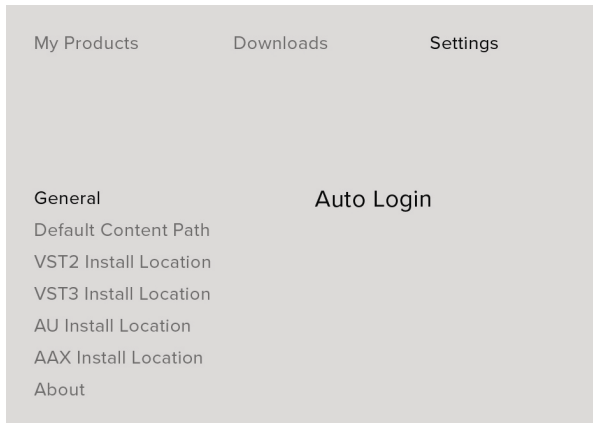
③ ライブラリ

コレクション内のすべてのライブラリとプラグインが、アートワークと共に表示されます。アートワークをクリックすると、製品ページが開きます。システム要件や説明書、リセットや修復オプションなどの情報を見つける際に使用します。

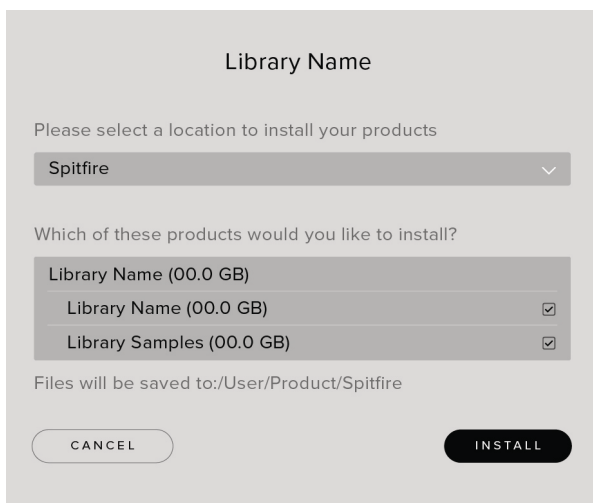
④ [INSTALL]／[UPDATE]

ボタンをクリックすると、ライブラリに移動する代わりに、**My Products**タブから直接ダウンロードを開始できます。ボタンの横には、ダウンロード時のサイズが表示されます。

SPITFIRE APPの設定



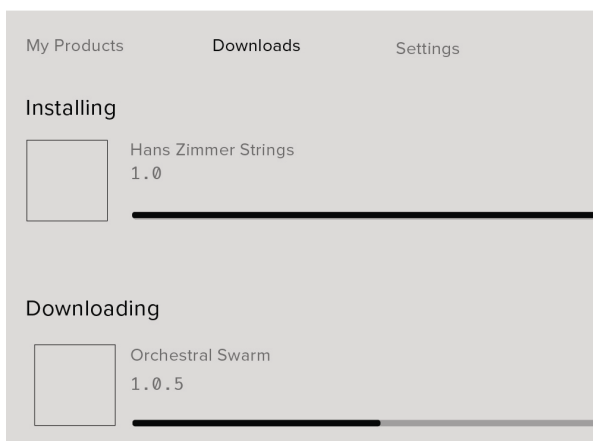
Spitfire Audio Appを初めて利用される場合、まず**Settings**タブを開いてください。ライブラリのダウンロード時のDefault Content (デフォルト・コンテンツ) の場所や、プラグイン (VST2, VST3, AU, AAX) のインストール先を設定できます。**Auto Login**を有効にすると、次回以降のログイン時間が短縮されます。



設定の完了後、[INSTALL]ボタンをクリックします。このボタンは、ライブラリのアートワークの下の**My Products**タブ、または各ライブラリ・ページに表示されます。

クリック後、インストール先を指定します。上述のデフォルト・コンテンツの場所以外に、ここでは任意の場所を指定できます。[HDD Install]選択時にも適切なインストール場所を指定してください。

インストール先が決まったら、[DOWNLOAD]をクリックします。



Downloadsタブが表示されます。他のタブに切り替えて別のダウンロードを開始することもできますが、Spitfire Audio Appは終了しないようにしてください。

専用プラグイン

他の弊社製品とは異なり、Kontakt PlayerやKontaktのフル・バージョンは必要ありません。本製品はVST, AU, AAX用のまったく新しいプラグインです。

- ⚠ これらの動作は各DAWのバージョンやOSまたはソフトウェアの表示言語によって異なる場合があります。詳しくはお持ちのDAWに付属する各マニュアル内の該当ページをご確認ください。

LOGIC PRO X

- 新規トラックのダイアログ・ボックスを開きます。
- [ソフトウェア音源]を選択し、[インストゥルメント]ドロップダウンの下を見てください。
- AU Instruments > Spitfire Audio > Abbey Road Orchestraを選択。

CUBASE

- トラック・ウィンドウを右クリックし、'Add Instrument Track'を選択します。
- [インストゥルメント]ドロップダウンの下のAbbey Road Orchestraを選択。
- Add Trackを選択。

PRO TOOLS

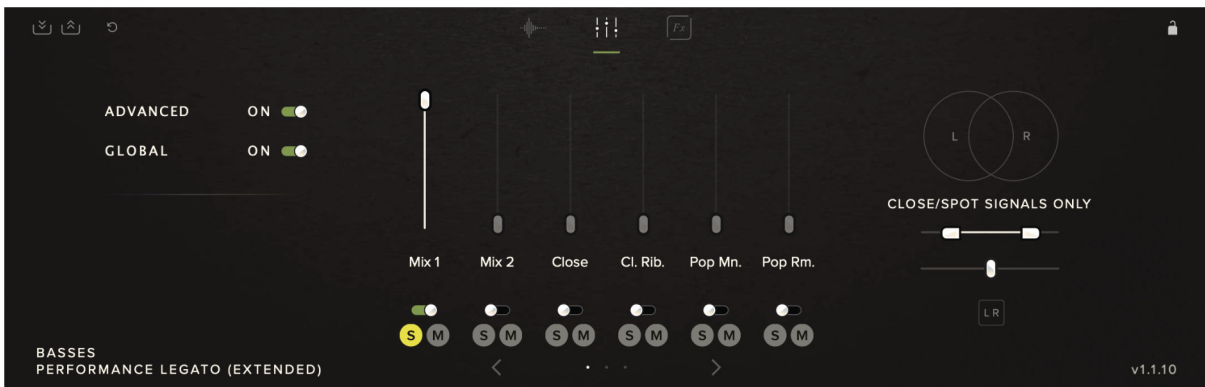
- 画面上部の'Track'メニューから'New'を選択。
- ポップアップでStereoとInstrument Trackを選択し、'Create'を押します。
- 最初のInsertスロットで、マルチチャンネル・プラグインを選択し、'Instrument'を選択。
- Abbey Road Orchestraの選択肢を開けます。

概観

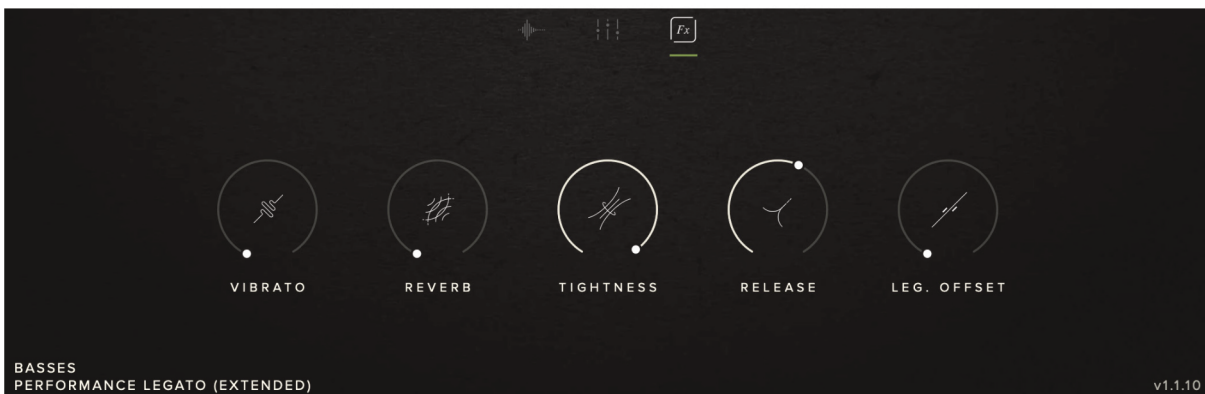


- ① トップ・メニュー
- ② プリセット・セレクタ
- ③ メイン・コントロール
- ④ テクニック・セレクタ

シグナル・ミキサー



コントローラ

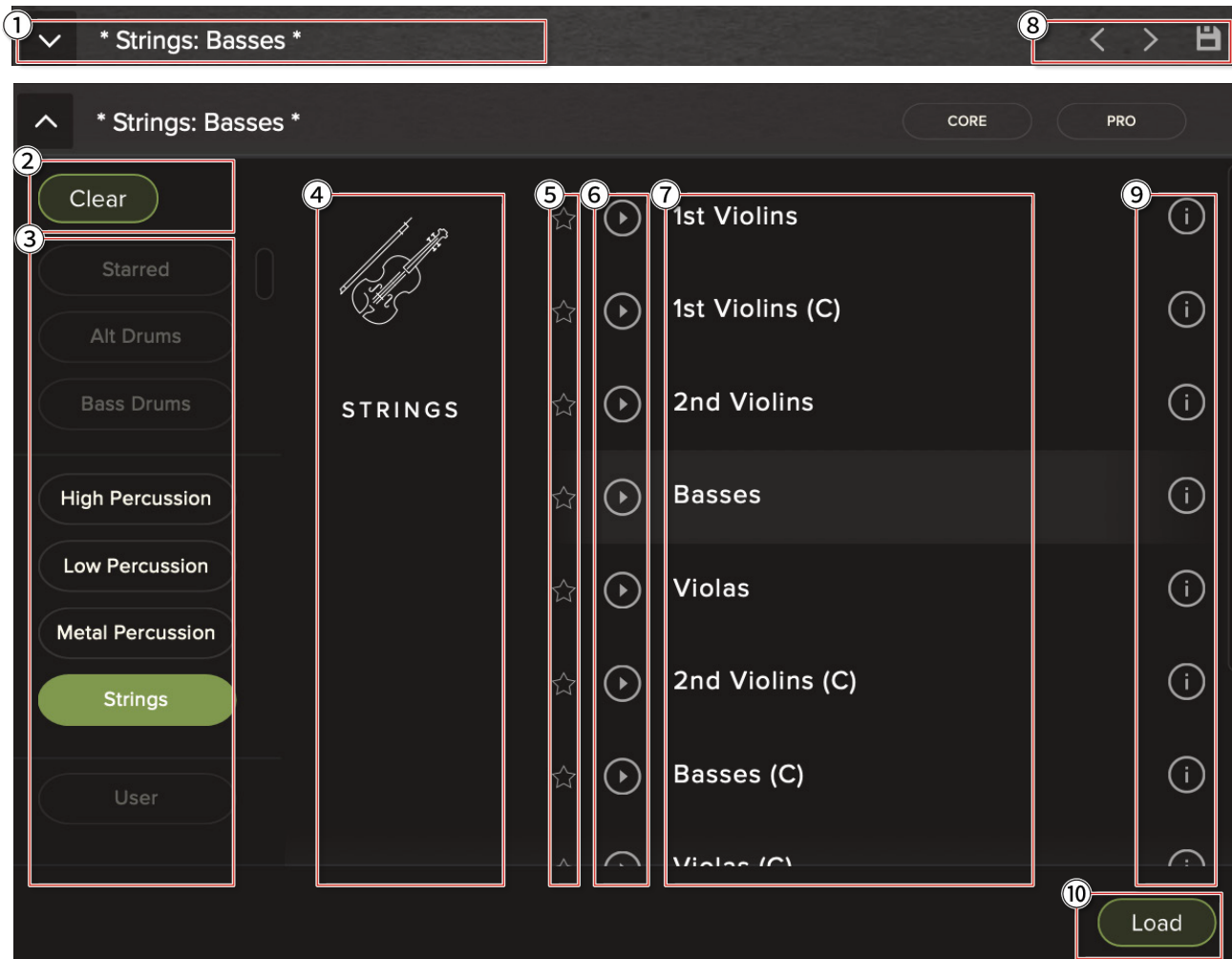


キーボード、INFO (情報)



キーボード上にマウスポインタを置くと、各キーにマッピングされたアーティキュレーションに関する情報が左側に表示されます。例えば、Right/Leftマッピングが有効になっている場合、どちらの手が使用されているかが表示されます。

プリセット・セレクト



① プリセット名

選択中のプリセットを表示。

② フィルタをクリア

すべてのインストゥルメントをまとめて表示。

③ フィルタ

クリックすると、各フィルタでグループ化されたプリセットのみを表示。

④ インストゥルメント・グループ

利用可能なプリセットをスクロールすると、インストゥルメント・グループがここに表示されます。

⑤ お気に入り

☆ボタンを押して、お気に入りとしてフィルタに追加。

⑥ プレビュー

プリセットを読み込むことなく、そのプリセット音色の短い例を再生。

⑦ プリセット・リスト


プリセット・リストをスクロール表示します。プリセットをロードするには、リスト項目をダブルクリックするか、[Load]ボタンをクリック。

💡 プリセット名に(c)が付くものはCoreプリセット。選択すると、プラグインが切り替わります。

⑧ 前、次、保存

プリセット・ビューを折りたたむと、3つのアイコンが表示。

前(<)と次(>)は、単に次の利用可能なプリセットに移動します(フィルタ有効時、フィルタ結果のプリセット・リストをスクロール)。

保存ボタンをクリックし、プリセットに名前を付けると、Userフィルタの下に表示。

⑨ 情報

[i]アイコンにマウスオーバーすると、プリセットの関連情報を表示。

⑩ ロード

プリセットを選択し、ロードする際に押すボタン。

メイン・コントロール



① ボリューム

一般にExpressionと呼ばれるシンプルなレベル・コントロール。

② ダイナミクス

演奏中のダイナミック・レイヤーを調整します。ボリュームと組み合わせて使用すれば、演奏がより音楽的になります。デフォルト設定ではLongにのみ影響を与えます。

③ ノブ

自由に設定可能なノブで、特定のテクニック（奏法）で使用可能な各種パラメーターをコントロールできます。ノブにマウスオーバーすると黒色になります。

④ 機能の割り当て

クリックすると、利用可能なコントロールのいずれかをノブに割り当てられます。

REVERB	サウンドに残響を加えます。
RELEASE	ロング・アーティキュレーションの終端(余韻)を伸ばします。

ロング・テクニク

- 75~100%: 最も長いリリース・オプション。パッド的だがスムーズ。
- 50~74%: デフォルト。自然で長すぎないバランス。
- 25~49%: デフォルトよりややスナッピーなオプション。
- 0~24%: 最も短いリリース・オプション。すべてのリリース・トリガーの音量を調整(例えば、0%ではRTサンプルが40%減衰し、24%では音量は変わらない)。

Tremoloでのデフォルトは25~49%です。

ショート・テクニク

- 100%: 4,000msリリース
- 0%: 1,000msリリース

このコントローラはフル・レンジに影響を与えるため、50%では2,000msのリリースとなります。

キーを押し続けたときには、この設定に関係なく常に4,000msのフルレンジで鳴ります。

TIGHTNESS	楽器のスタート・オフセットを調整。
	<ul style="list-style-type: none"> • 100%: -40ms • 0%: -80ms

VIBRATO	ロング・テクニックとレガート・テクニックのビブラート・レベルをコントロール。 <ul style="list-style-type: none">• Long: Senza (non), Poco, Molto• Legato: Poco, Molto
---------	---

LEG OFFSET	レガート・テクニックにおけるレガート・インターバルのオフセットをコントロールし、レガート・インターバルの反応に影響します。 <ul style="list-style-type: none">• 低めに設定: レガート・インターバルがより明瞭になります。• 高めに設定: ライブ演奏での反応が速くなります。
------------	--

このコントロールは、クオンタイズ時の一貫性も可能にします。例えば、MIDIをクオンタイズした場合、レガート・オフセット・コントロールを最大に設定すると、レガートは200msのトラック・オフセットと一致します。

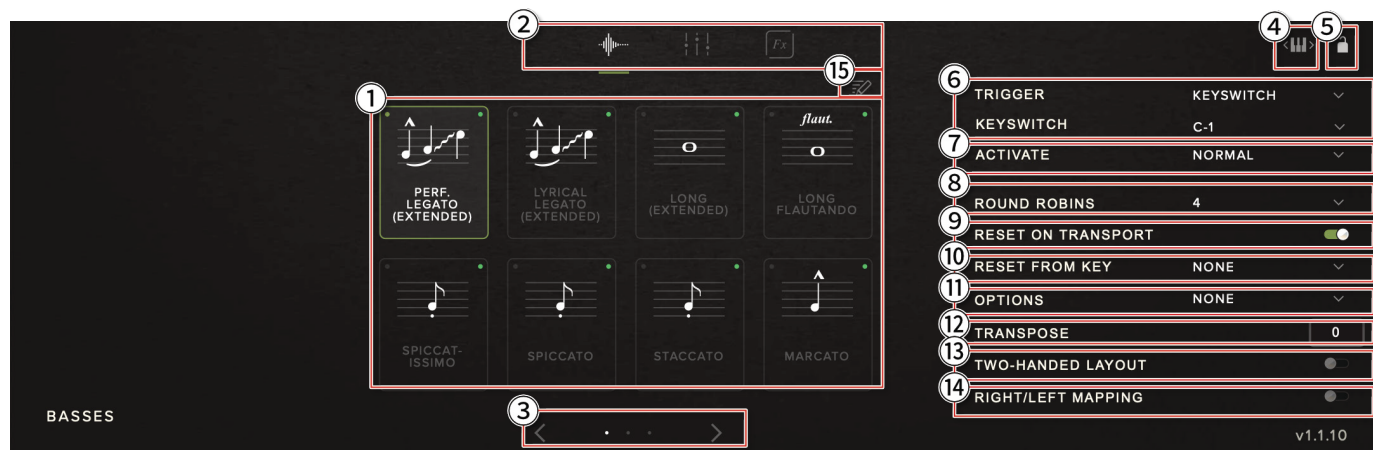
レガート・オフセット値

- 最小 (0%) ~ 最大 (100%)
 - Performance Legato
 - 150~100ms
 - Lyrical Legato
 - 200~100ms
 - Runs Legato, Legato Detaché, Legato Portamento, Legato Allegro
 - 200~100ms
-

これらのコントロールは、右クリックして表示されるメニューから設定することで特定のMIDIコントローラにアサインできます。

- 💡 MIDIコントローラをノブにアサインしたとき、そのMIDIコントローラはノブ自体にアサインされるのではなく、ノブにアサインされたパラメータに紐づけられる点にご注意ください。

テクニック・セレクト



① テクニック・スイッチャー

クリックしてテクニックを選択。Shift+クリックで複数のテクニックを選択できます。左上の赤い点は、再生されるテクニックを示し、アウトラインは、このページ上での他のオプションからの設定変更を示します。

② ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

③ テクニック・ナビゲーション

8つ以上のアーティキュレーションが使用可能な場合に表示されます。右矢印>をクリックして、追加のテクニックにアクセスできます。

④ キースイッチ調整

クリック&ドラッグでキーボードのキースイッチを左右に移動します。

⑤ ロック

テクニック・セクションがロックされ、不要な変更を防ぐことができます。

⑥ テクニック・トリガー

様々なパラメータを使用してテクニックをトリガーできます。

KEYSWITCH	キーボードのキーで各テクニックを選択。選択されたキーは、未選択のテクニックでは緑色、選択されたテクニックではオレンジ色で表示されます。
CC RANGE	コントロールのCCと値の範囲(または単一の値)でテクニックを選択。
VEL. RANGE	演奏の強さに応じてテクニックを選択。ソフトに演奏するときはロングを、ハードに演奏するときはピチカートをトリガーするとよいでしょう。
MIDI CHANNEL	入力されるMIDIチャンネルに基づいてテクニックを選択。
SPEED	演奏速度に応じてテクニックを選択。特定のテクニックに切り替えるためのノート間の時間間隔を指定してください。
PROGRAM CHANGE	プログラム・チェンジに基づいてテクニックを切り替え。

⑦ アクティブ

テクニックの切り替えを "NORMAL" と "LATCH" で切り替えます。

NORMAL	次のキースイッチが押されるまで、そのアーティキュレーションを維持。
LATCH	キースイッチのキーを押している間だけ、そのアーティキュレーションを維持。

⑧ ラウンドロビン

繰り返されるノートが機械的で不自然に聞こえないようにする手法。同じノートを演奏するたびに、同じ音程、同じアーティキュレーションの別のサンプルが順番に鳴ります。ここでは、そのバリエーション数を調整できます。

⑨ トランスポートでリセット

DAWのトランスポートの再生ボタンを押すたびに、ラウンドロビンのバリエーションがリセットされるようになり、毎回同じ再生結果が得られるようになります。

⑩ キーからリセット

キースイッチを使ってラウンドロビンをリセットできます。ここではそのキースイッチを選択。

⑪ ラウンドロビン・オプション

NEIGHBOUR ZONE RR	隣の音から音を借用し、ピッチに合わせて移調することで、ラウンドロビン数を稼ぎます。
LAYER X2	ラウンドロビンを2つ重ねて音を厚くします。ラウンドロビンの1/2のペアの後に3/4のペアを再生するため、ラウンドロビン数は実質的に半分になります。
LAYER X2 (NO SKIP)	上記と同様ですが、1/2のペアの後に2/3のペアが続くため、ラウンドロビン数は保持されます。
LAYER +2	演奏されたキーの2つ上のサンプルをラウンドロビンとして使用します。サンプルは再生に適したピッチに移調されます。
LAYER -2	演奏されたキーの2つ下のサンプルをラウンドロビンとして使用します。サンプルは再生に適したピッチに移調されます。

⑫ トランスポーズ

1半音単位で上下にトランスポーズします。このコントロールはサンプルをストレッチするのではなく、入力された MIDI ノートをトランスポーズします。

サンプルを調整するには、TUNE ノブを使用します。

⑬ 両手レイアウト

本製品では使用されません。

⑭ 左右マッピング

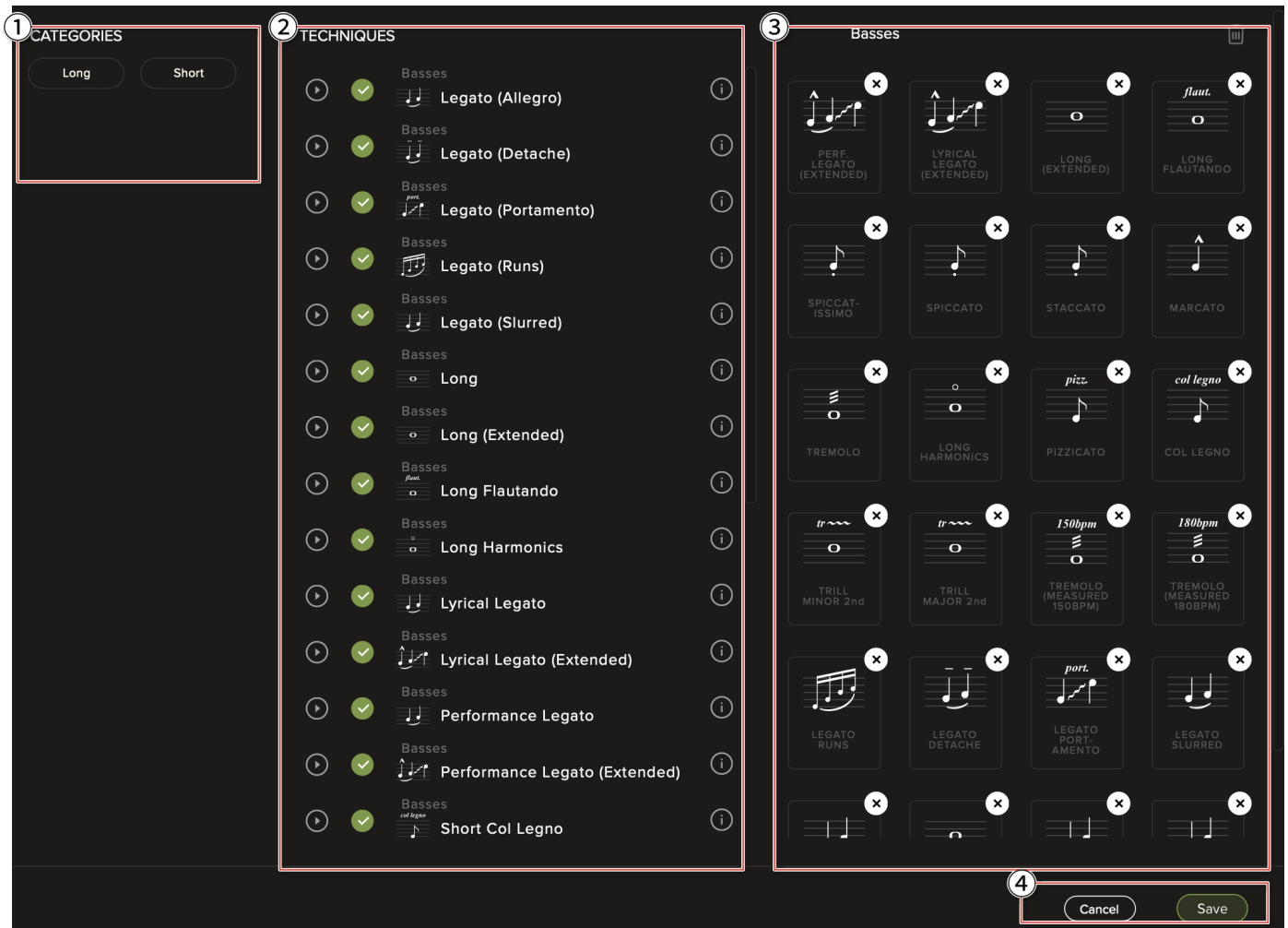
本製品では使用されません。

⑮ テクニック・エディタ

テクニック・エディタを開き、プリセットのカスタマイズや編集を行います。

テクニック・エディタ

ここでは、現在のプリセットからテクニックを削除したり並べ替えたりできます。




① カテゴリー

特定のプリセットで利用可能なすべてのテクニックをフィルタリングできます。

② テクニック

各プリセットで利用可能なすべてのテクニックが表示されます。[+]をクリックすると、現在のプリセットにテクニックを追加できます。

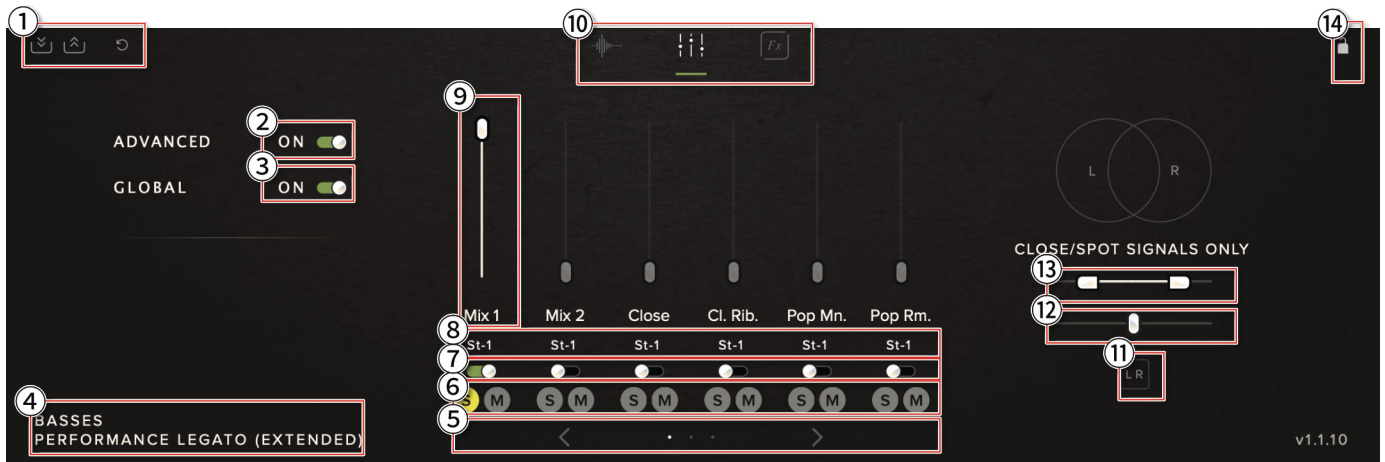
③ テクニック・アレンジャー

現在のアーティキュレーションが表示されます。クリックしてドラッグすると、クリック&ドラッグで順番を並べ替えできます。右上隅の[×]をクリックしてプリセットからテクニックを削除、上のゴミ箱アイコンをクリックしてすべての奏法を完全に削除します。

④ キャンセル／保存

編集が完了したら[Save] (保存) をクリックします。保存したくないときは[Cancel] (キャンセル) を選択すると、元の設定に戻ります。

シグナル・ミキサー



① ミキサー・プリセット

異なるインストゥルメントやプリセット間でミックス設定を共有する際に便利です。☑️をクリックすると保存され、📁をクリックするとロードされます。

プリセットの名称変更、削除を行うには、OSごとのファイル・システム上で Abbey Road Orchestra > Presets > Mixとフォルダに移動し、mpresetファイルを編集します。

② 詳細設定

③ グローバル

ミキサーに加えた変更が、プリセット内のすべてのテクニックに反映されます。Offにすると、ミキサーへの変更は選択したテクニックのみに影響します。

④ テクニック名

⑤ シグナル・ナビゲーション

左右矢印<>をクリックして追加シグナルにアクセスできます。未使用のシグナルは灰色で表示されます。

⑥ ソロ／ミュート

[S] (ソロ) をクリックすると、そのシグナルのみが再生されます。複数のシグナルの[S]をクリックすると、複数のシグナルを分離して聞くことができます。

[M] (ミュート) をクリックすると、そのシグナルを消音します。複数のシグナルの[M]をクリックすると、複数のシグナルを消音します。

- [S]をShift+クリックすると、複数のチャンネルをソロにすることができます。
- [S]や[M]をAlt/option+クリックするとすべてのソロまたはミュートが解除されます。
 - 💡 これらの動作は、Solo Latch (ソロ・ラッチ ; 後述) を使用して変更できます。
- Ctrl/command+クリックで、レベルを100%にスナップします (そしてシグナルをオンにします) 。

⑦ シグナルのOn/Off

ここでシグナルのOn/Offを切り替えます (フェーダーを上げることでOnになります) 。シグナルをOnにした場合、完全に有効になるまで時間差がありますので、インターフェース左上のLED を注視してください。

⑧ マルチ出力

アクティブな状態でシグナル・フェーダーの下をクリックすると、そのシグナルを別のステレオ出力にアサインできます。DAW でのミキシング時における自由度が向上します。

⑨ シグナル・フェーダー

ここで各シグナルのレベルを調整します。右クリックでMIDIランできます。

⑩ ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

⑪ 左右チャンネルの反転

左右のチャンネルを入れ替えます。

⑫ パン

ステレオ・フィールド内での近接シグナルの位置を調整します。

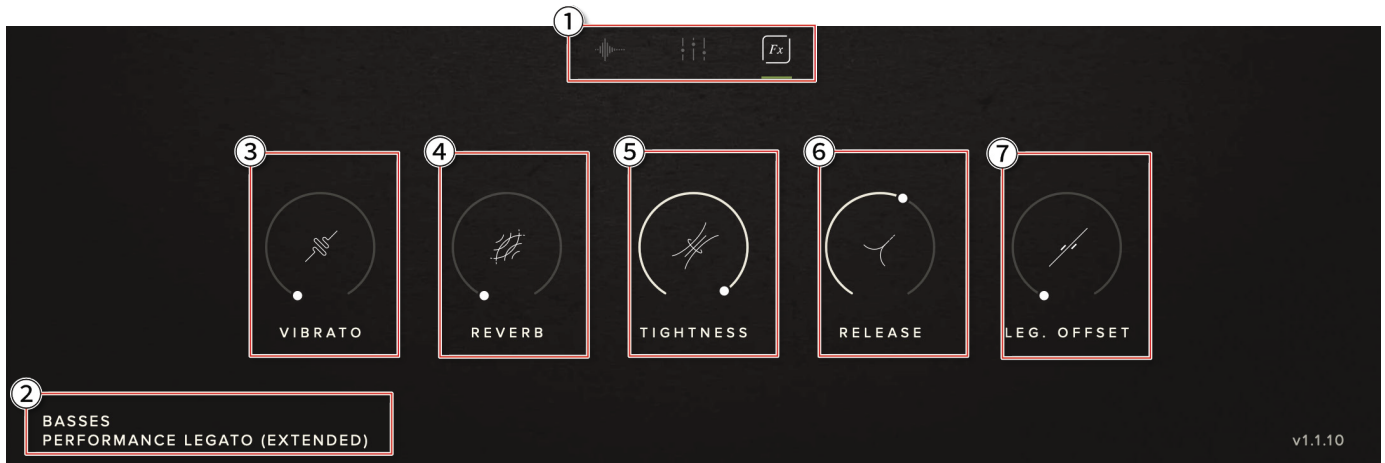
⑬ ステレオ幅

近接シグナルのステレオ幅を調整します。右クリックでMIDIランできます。

⑭ ロック

ミキサーをロックし、ミキサーへの変更を禁止します。MIDIコントローラによる変更も防げますが、ミキサーのロックを解除するとすぐにコントロールがアクティブになってしまうのでご注意ください。

エフェクト



① ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

② テクニック名

③ リバース

サウンドにリバースを追加します。

④ リリース

ロング・テクニックのリリース時間を調整します。

- 100% = 4,000ms
- 0% = 1,000ms

このコントローラはフル・レンジに影響を与えるため、50%では2,000msのリリースとなります。

キーを押し続けたときには、この設定に関係なく常に4,000msのフルレンジで鳴ります。

⑤ タイトネス

0%のとき、このコントロールはよりシャープなレスポンスになるように、サンプルの開始点 (スタート・オフセット) をさらにカットします。

⑥ ビブラート

ロング・テクニックとレガート・テクニックのビブラート・レベルをコントロール。

⑦ レガート・オフセット

レガート・テクニックにおけるレガート・インターバルのオフセットをコントロールし、レガート・インターバルの反応に影響します。

- 低めに設定: レガート・インターバルがより明瞭になります。
- 高めに設定: ライブ演奏での反応が速くなります。

このコントロールは、クオンタイズ時の一貫性も可能にします。例えば、MIDIをクオンタイズした場合、レガート・オフセット・コントロールを最大に設定すると、レガートは200msのトラック・オフセットと一致します。

レガート・オフセット値

- 最小 (0%) ~ 最大 (100%)

■ Performance Legato

- 150~100ms

■ Lyrical Legato

- 200~100ms

■ Runs Legato, Legato Detaché, Legato Portamento, Legato Allegro

- 200~100ms

トップ・メニュー



① LED

インストゥルメントがロードされると緑色に点灯します。

② CPU メーター

CPUに負荷がかかると、メーターの隣が赤くなります。

③ DISKメーター

ドライブへの負荷が100%に近い、または100%を越す場合、高速なドライブの導入をご検討ください。

④ メモリ

使用中のRAMの容量を表示します。プリセットのロード時、メモリにロードされているインストゥルメントを表示します。

⑤ ボイス数

使用されている発音数を表示します。

⑥ リフレッシュ

インストゥルメントをリフレッシュします。Alt/option+クリックでプラグイン全体をリフレッシュします。MIDI ノートがハングアップしていたり、システム内のサンプルを移動した際に使用してください。

⑦ モード切替

CoreとProの両方のバージョンをインストールしている場合にのみ使用できます。製品を切り替えるには、ここをクリックしてください。

⑧ MIDIチャンネル

インストゥルメントを制御するMIDIチャンネルを設定します。anyを選択すると、インストゥルメントはすべてのMIDIメッセージに反応します。

⑨ チューニング

ノブを動かして0.01半音単位でチューニングできます。Ctrl/command+クリックするとデフォルトに戻ります。

⑩ パン

ステレオ・フィールドで出力シグナル全体を左右にパンします。Ctrl/command+クリックするとリセットされます。

⑪ ボリューム

インストゥルメント全体の音量を調節します。

⑫ プリセット設定

① ダイナミクス動作

ダイナミクス・フェーダーの動作を指定。

- FULL VELOCITY RANGE
- VELOCITY MAPPED TO DYNAMICS: ショート・ノートのパロシテをモジュレーション・ホイールでコントロールできます。ソフト・テイクオーバー無効 (③項参照)。
- COMPRESSED VELOCITY HIGH, COMPRESSED VELOCITY LOW: ダイナミック・レンジを固定ダイナミック・レイヤーに制限。ソフト・テイクオーバー無効 (③項参照)。



② ベロシテ

コントローラのタッチに合わせて4つのベロシテ・カーブから選択。

③ CC マッピング

- [RESET]: 当該インストゥルメントのすべてのCCマッピングがデフォルトに設定。
- [CLEAR]: プラグインのCCマッピングをすべて削除。

④ テンポに同期

有効にするとトレモロ奏法がBPMに同期します。CPU負荷が増しますので、CPUパフォーマンスを向上させたい場合は無効にするか、settingsでピッチストレッチ・アルゴリズムを変更してください。

⑤ ボイス・チョーク

パーカッション・ライブラリのみ。エンドヒットをより正確に配置するために、シングルヒットをロールに割り込ませることができます。

これはToysパッチにも影響し、Guiros short scrapesはミディアムとロングの長音を中断します。

⑥ ロール・エンド

パーカッション・ライブラリのみ。有効にすると、ナチュラル・エンド・ヒットが記録され、ノートオフ時にトリガーされます。

⑦ ソフト・テイクオーバー

パーカッション・ライブラリのみ。

- OFF: ロール／ロングのベロシティはモジュレーション・ホイールによってのみ決定されます。
- ON: ロール・キーがベロシティに反応するようになります (キーがどれだけ強く押されたか、または弱く押されたかがダイナミクスを決定します)。

ユーザーがロールのキースイッチでトリガーしたベロシティ・レベルまでスクロールした段階で、モジュレーション・ホイールがアクティブになります。

この機能を使用する場合、プリセット設定のDynamics設定はFull Velocity Range (デフォルトの状態) に設定する必要があります (④項参照)。

⑧ ショート・リリース

リリース・サンプルを調整。

- TIMED: ノートの長さが300ms未満のときリリース・トリガーを再生し、元のサンプルを節約。
- UNTIMED: ノートの長さに関係なくリリース・トリガーを再生。
- NONE: ワンショット。

⑨ ソロ・ラッチ

- ON: ミキサーの複数チャンネルのソロ・ボタンを併用可能。
- OFF: ソロ・ボタンは単一チャンネルのみで機能。

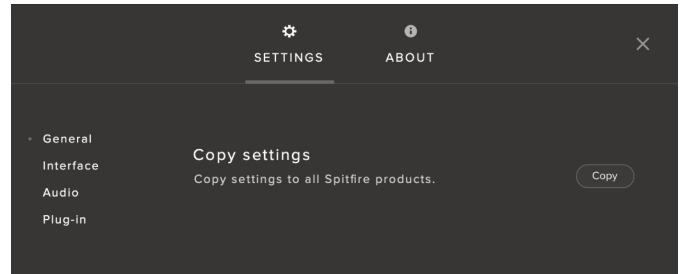
⑩ 不使用サンプルをページ

ECO MODE のアクティブ状態を表示。さらに、これをクリックすると、選択したテクニック以外のすべてのサンプルをメモリーから削除。

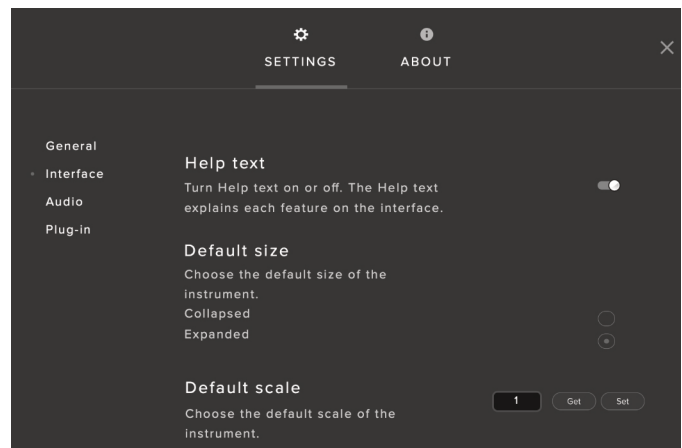
⑬ プラグイン設定

Copy settings (設定のコピー)

コントローラの共通設定を他のSpitfireプラグインにコピーします。

Help text (ヘルプ・テキスト)

プラグインの左下にパラメータ情報を表示します。

Default size (デフォルト・サイズ)

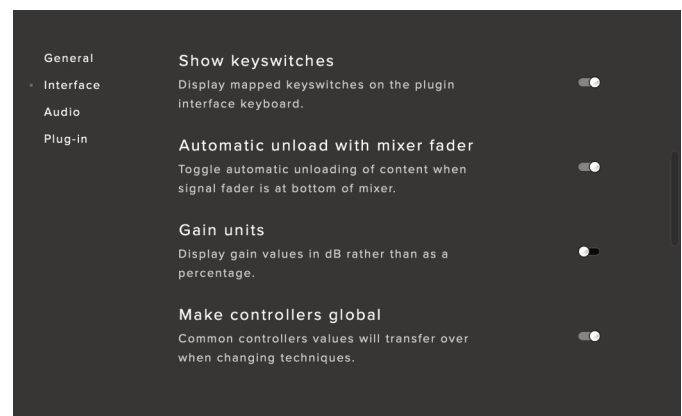
インストゥルメントがデフォルトで折りたたまれた状態で開くか、展開された状態で開くかを設定します。

Default scale (デフォルト・スケール)

プラグインUIを開いたときの大きさ。[Get]を押して現在のスケールを設定するか、値をタイプしてから[Set]と[Save]を押してください。

Show keyswitches (キースイッチ表示)

有効にすると、複数のテクニックを持つプリセットは、利用可能なキースイッチを赤で、選択中のテクニックを黄色で表示します。

Automatic unload with mixer fader (ミキサー・フェーダーでアンロード)

フェーダーを完全に下げた時に、RAMからデータをアンロードするようになります。

Gain units (ゲイン単位)

ゲインをパーセントではなくdBで表示できます。

Make controllers global (コントロールをグローバルに)

テクニックを切り替えてもコントローラの共通値を保持します。

Disable host automation (ホスト・オートメーション無効)

DAWからのホスト・オートメーションの有効／無効を切り替えます。

Change knob drag type (ノブのドラッグ・タイプを変更)

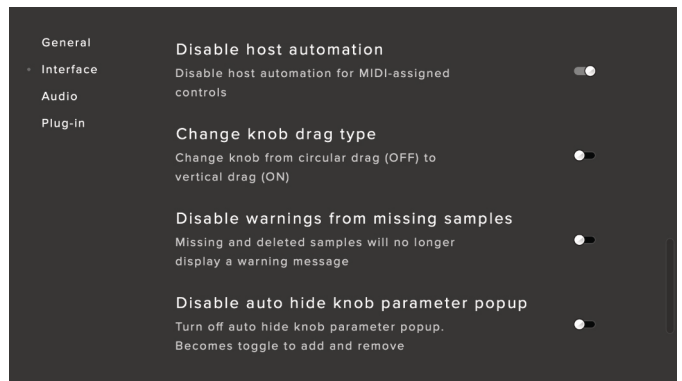
ノブをドラッグ操作するときのマウスの動作を変更します。

Disable warning from missing samples (サンプルの欠落による警告の無効化)

ライブラリのコンテンツが欠落している場合に表示されるプラグイン左上のエラーを非表示にします。

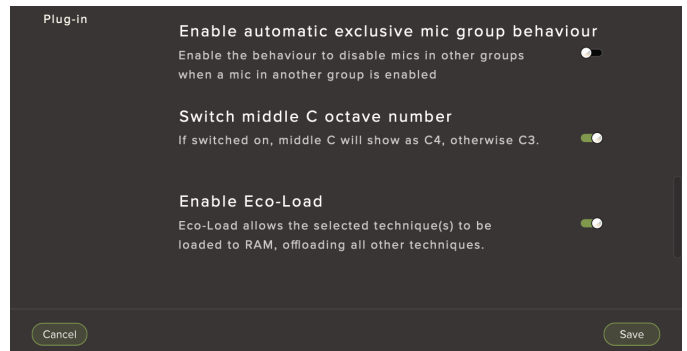
Disable auto hide knob parameter popup (ノブのパラメーター・ポップアップの自動非表示)

有効の場合、ノブをクリックすると常にコントロールメニューが表示されます。



Enable automatic exclusive mic group behaviour (マイク・グループの自動排他動作を有効化)

マイクのグループ化を解除したい場合は無効にしてください。例えば、AMBIENTマイクを有効にすると、MIXシグナルは無効になります。




Switch middle C octave number (ミドルCのオクターブ・ナンバーを切り替え)

ミドルCの値をC3とC4の間で変更します。異なるMIDI規格を使用するDAWで、キースイッチの表示を合致させる際に使用してください。

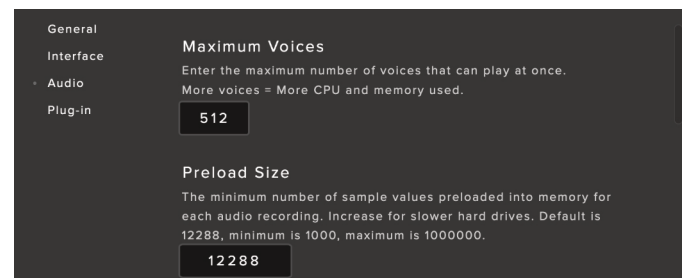
Enable Eco-Load (エコロード有効)

有効にすると、選択したテクニックのみがRAMにロードされます。キースイッチや新しいアーティキュレーションを選択すると、これもRAMにロードされます。

トップ・メニューのリフレッシュ・アイコン  を押すと、メモリ使用量の表示は現在選択されているテクニックにリセットされます。

Maximum Voices (最大ボイス数)

一度に演奏できるボイスの最大数を入力。発音数が多いほどCPUとメモリの使用量が増えます。

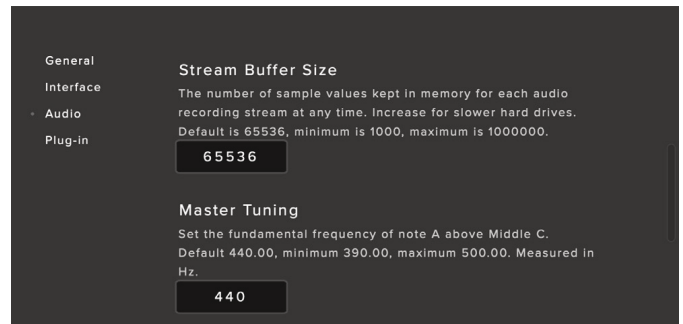


Preload Size (プリロード・サイズ)

各オーディオ録音のためにメモリにプリロードされるサンプル値の最小数です。ディスク・ドライブが遅い場合は値を増やしてください。デフォルトは12288です。

Stream Buffer Size (ストリーム・バッファ・サイズ)

各オーディオ録音ストリーム(サンプル)がメモリに保持されるサンプル値の数。低速のディスク・ドライブでは値を大きくしてください。

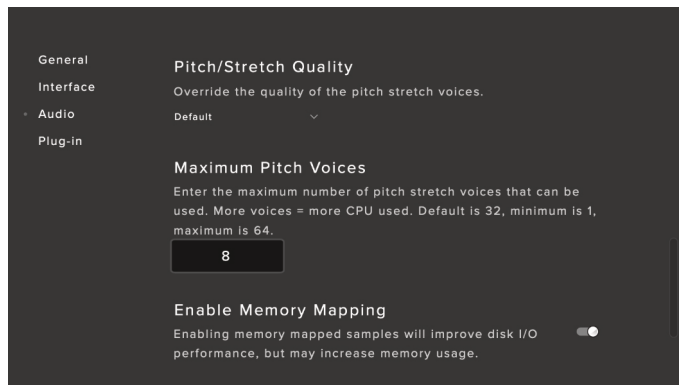


Master Tuning (マスター・チューニング)

プラグインのデフォルト・チューニングを変更します。例えば、A = 440HzまたはA = 432Hz。

Pitch/Stretch Quality (ピッチ/ストレッチ・クオリティ)

デフォルトのピッチ/タイム・クオリティを調整して、パフォーマンスを向上させたり、オーディオ・クオリティを改善することができます。使用するライブラリによっては非対応です。



Maximum Pitch Voices (最大ピッチ音色)

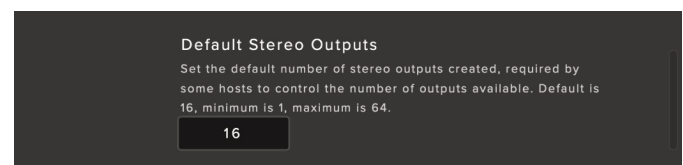
一度にトリガーされるボイス数を制限します。値が低いほどCPUの負荷を軽減します。

Enable Memory Mapping (メモリ・マッピングの有効化)

Windowsマシンではオフにするとパフォーマンスが向上します。

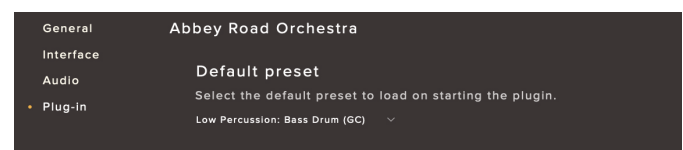
Default Stereo Outputs (デフォルト・ステレオ出力)

マイク・ルーティングのデフォルトの出力数。



Default preset (デフォルト・プリセット)

プリセット名をクリックし、リストからお好みのプリセットを選択してください。



マイク・シグナル

PRO, CORE共通

MIX 1

Simon Rhodesによるフルルーム・ミックス。TREE 1, OVERHEADS, OUTRIGGERS 1、および厳選されたスポット・マイクによるフルサウンドのルームミックス。

PRO版

MIX 2

TREE 2, MIDS, OUTRIGGERS 2から構成された、Simon Rhodesによるタイトなミックス。

CLOSE

各デスクに配置された小型ダイアフラム・コンデンサー・マイク。詳細で明瞭な近接イメージを収録。

CLOSE RIBBONS

各デスクに配置されたリボン・マイクの組み合わせ。暖かくまるやかな近接イメージを収録。

POP MAIN

セクションの上に配置されたカーディオイド・ステレオ真空管マイク。オーケストラのレイアウトに制限されない柔軟なイメージを中心にパンニング。

POP ROOM

セクションの両側に配置された無指向性コンデンサーマイク。POP MAINシグナルに広がりを加えます。

TREE 1

Abbey Road最高のトリオ、クラシックな無指向性真空管マイクで構成されたデッカツリー。

TREE 2

よりタイトで近距離のデッカツリー。より速く、より繊細な素材に適しています。

OUTRIGGERS 1

いずれかのTREEと併用して広いイメージを得るためのペア。無指向性マイクを使用し、スタジオの全幅を再現。

OUTRIGGERS 2

いずれかのTREEと併用して広いイメージを得るためのペア。より指向性のあるパターンのマイクを使用し、部屋の縁を際立たせます。

MIDS

指揮者と音源の間に配置された真空管REDDマイクのペアで、TREEとOUTRIGGERSと組み合わせることで音にさらなるフォーカスを加える。

AMBIENTS

部屋の後方に配置された無指向性の小型ダイアフラム・マイクのペア。自然なアンビエンスを収録。

VINTAGE 1

1940年代のオリジナルRM1Bリボン・マイクのペアを指揮者の前に配置。ビンテージなスコアリング・ステージ・サウンドを生成。

VINTAGE 2

クラシックな44BXリボン・マイクのペアを指揮者のそばに配置。別バージョンのビンテージ・スコアリング・ステージ・サウンドを生成。

LEADER

セクション・リーダーに配置された単一指向性マイクで、必要に応じてセクション全体の上にさらなるフォーカスを加えます。

SPILL

演奏されていないセクションのスポット・マイクを合計したもので、臨場感を出すのに便利です。

テクニック

PRO版

PERFORMANCE LEGATO EXTENDED

演奏速度にリアルタイムで反応する、非常に詳細で演奏性の高いレガート・パッチ。

PRO版では、レガート・スタイル (ポルタメントとデタッシュェ)、さらに単音でのマルカートとソフト・エントリーが追加されています。弊社製品の中でも最先端のレガート表現です。

LYRICAL LEGATO EXTENDED

ゆったりとしたメロディライン用のレガートパッチ。

PRO版では、追加のレガートスタイル (ポルタメントとデタッシュェ)、さらに単音でのマルカートとソフト・エントリーが追加されています。

LONGS EXTENDED

ポリフォニックなサスティン・ロング・パッチ。PRO版では、ベロシティをトリガーとするノート・エントリーのためのソフト・スタイルとマルカート・スタイルが追加されています。

LEGATO RUNS

俊敏なレガート・パッチで、高速パッセージや、minor 3rd (短3度) までの装飾音符に適します。

⚠ 短3度以上のレガート・インターバルは鳴りません。

LEGATO PORTAMENTO

すべてのノートがポルタメントのスタイルで演奏され、ノート間を意図的にスライドさせるレガート・パッチです。

LEGATO DETACHE

レガート・スタイルのパッチで、すべての接続音符が弓のストロークでくっきりと区切られており、力強くインパクトのある表現に最適です。

LEGATO SLURRED

レガート・スタイルのパッチで、音程間を適度なテンポ感のスラーで演奏したもの。

LEGATO ALLEGRO

レガート・スタイルのパッチで、音程間をアップテンポ気味のスラーで演奏したもの。速めのオスティナートやアルペジオの素材に最適。

PRO, CORE 共通

PERFORMANCE LEGATO

演奏速度にリアルタイムで反応する、精密で演奏しやすいレガート・パッチ。

LYRICAL LEGATO

ゆったりとしたメロディ・ライン用のレガート・パッチ。

LONG

パッドやコード・ライティング用のポリフォニックな持続音によるロング・パッチ。

FLAUTANDO

フレットボード近く (sul tasto) を速い弓のスピードで演奏した持続音。

TREMOLO

高速な連続的ボウイングで演奏するテクニック。柔らかく弾くとキラキラするような効果があり、強く弾くと攻撃的で緊迫感のある音になります。

MEASURED TREMOLO

プリセット設定内でホストDAWのテンポへの同期が可能。指定された反復音数で行われるトレモロ。

HARMONICS

弦の倍音（人工倍音）から生成される持続音は、本来の音よりも高く響き、ガラスのようなサスペンフルなテクスチャーを作り出します。

TRILLS

2つの音を高速で交互に発音。Major / Minor, 2nd / 3rd（長短2度または3度）の計4種があります。

SPICCATISSIMO

最も短い音。スタッカートと似ていますが、よりキレのある短い音。

SPICCATO

弓が弦に当たって跳ね返るような絶妙にタイトな音

STACCATO

弦の上で弓を弾きながら演奏する短い音。わずかにアクセントがあり、はっきりとした響き。

MARCATO

スタッカートよりも長い音。"TIMED"のリリース・トリガーを選択できます。

PIZZICATO & BARTOK PIZZICATO

弦を指ではじいて出す短音。バルトーク・ピチカートは、ベロシティが121以上のダイナミクスで収録されます。

COL LEGNO

弓の背や鉛筆で弦を叩き、軽快で木の質感を伴った音を出す奏法。

レガートの比較と用法

下表は、本製品CORE版とPRO版とのレガート・パッチの大まかな違いです。インターバル（音程差）のダイナミクス数と、そのパッチがどのようなインターバル・タイプを含んでいるかを示しています。

	ダイナミック ・レイヤー数	Slur	Fast Run	Portamento	Detache	Staccato	Alt. Attack
Legatoテクニック							
Pro Performance Legato (Extended)	Long: 5 Interval: 3	○ スピードまたはベロシティ依存の2タイプ	○	○	○	○	Standard Soft Marcato
Pro + Core Performance Legato	Long: 5 Interval: Pro 3 Core 2	○ スピードまたはベロシティ依存の2タイプ	○			○	Standard
Pro Lyrical Legato (Extended)	Long: 5 Interval: 3	○ スピードまたはベロシティ依存の2タイプ		○	○		Standard Soft Marcato
Pro + Core Lyrical Legato	Long: 5 Interval: Pro 3 Core 2	○ スピードまたはベロシティ依存の2タイプ					Standard
各Legatoテクニック (Pro版のみ)							
Pro Legato Runs	Long: 5 Interval: 3		○			○	Standard
Pro Legato Portamento				○			Standard
Pro Legato Detaché						○	Marcato
Pro Legato Slurred		○ 1タイプ					Standard
Pro Legato Allegro		○ 1タイプ					Standard

レガート・インターバルとプログラミング情報

COREとPRO

PerformanceとLyricalのレガート・テクニックには、複数のスピードのスラー・レガート・インターバルが収録されています。呼び出されるインターバルは演奏速度に依存するため、常に適切なインターバルが呼び出され、演奏にリアルタイムで反応します。

中速度のインターバル・レイヤーは、レガート先のノート・ベロシティを21~29 (非Extendedバージョンでは0~29) の間の任意の値に変更することで、必要に応じて手動でオーバーライドできます。

PRO

Extendedのレガート・テクニックのインターバルには、ポルタメント (ノート間のスライド/グリッサンド) とデタッシュエ (別々の弓ストローク) という追加のインターバル・タイプもあります。これらのインターバルタイプは、レガート先のノート・ベロシティに応じてトリガーされます。

- ポルタメント: ベロシティ 20未満
- デタッシュエ: ベロシティ 111以上

ポルタメント・インターバルは、設定された範囲 (ベロシティ 9~19) 内でベロシティを変化させることで、通常のスラー・インターバルとブレンド可能。

デタッシュエ・インターバルを、設定された範囲 (ベロシティ 111~119) 内でベロシティを変化させることで、通常のスラー・インターバルとブレンド可能。これにより、弓の変化を "ソフトに "する効果が得られます。

ブレンド・レベルは、ブレンド範囲内のベロシティ値によって調整できます。通常のスラー・インターバル・トランジションは、これらのベロシティ範囲外で呼び出されます (下表参照)。

Legato 'Extended' - インターバルのベロシティ・トリガー表					
ベロシティ	0~8	9~20	21~109	110~119	120~127
Performance / Lyrical Legato (Extended)	ポルタメントのみ	ポルタメント+スラー	スラーのみ ※21~29では中速度のインターバルをバイパス	デタッシュエ+スラー	デタッシュエのみ

レガート・アタックとプログラミング情報 (PRO版のみ)

PRO版の'Extended'パッチには、単音のロングに伴うアタック(ノート・フロント)が2種類追加収録されています。

- Soft Attack: ロングに至る短いクレッシェンド／スウェル。
- Marcato Attack: アクセントのある立ち上がり。

各タイプは、レガート先のノートのベロシティ(新しいノートが押される強さ)に応じてトリガーされます。

- Soft Attack: ベロシティ 20未満
- Marcato Attack: ベロシティ 111以上

Standardアタックは、これらのベロシティ範囲外で呼び出されます。

ロングとショートと比較と用法

下の表は、本製品CORE版とPROFESSIONAL版とのノン・レガート・パッチの大まかな違いです。各パッチが含むダイナミクスの数、および補足情報を示しています。

	ダイナミクス・レイヤー数	Slur	Fast Run	Portamento	Detache	Staccato	Alt. Attack
Longテクニック							
Pro Long(Extended)	5						含Alt. Attacks (Standard, Soft, Marcato)
Pro + Core Long	5						Standard Attackのみ
Pro + Core Tremolo	3						
Pro + Core Measured Tremolo	3						150BPM, 180BPM (テンポ同期)
Pro + Core Flautando	3						
Pro + Core Harmonics	3						
Pro + Core Trills	3						長短2度, 3度
Shortテクニック							
Pro + Core Spiccatisimo	5						
Pro + Core Spiccato	5						
Pro + Core Staccato	5						
Pro + Core Marcato	5						
Pro + Core Pizzicato	6						最大ダイナミクス時、Bartok Pizzicato
Pro + Core Col Legno	4						

COREとPRO

ショート・テクニックのリリース・コントロール (FX) は、複数の音が次々に鳴る複雑な素材を演奏する際に、正確なコントロールを可能にするために開発されました。

ショート・テクニックのリリース・コントロールは、ショート・アーティキュレーションのフェード・タイムをコントロールします。下げると、フェードアウトが早くなります。

キーボードを素早く押したり、短いMIDIデータを描いたりしたときに、この効果が有効になります。

しかし、ノートがホールド（または長いMIDIノート・データ）されれば、フェード・アウトがフルで再生されます。

これは、リピート・パターンにおける残響の「ビルドアップ（濁り）」を一掃するのに便利ですが、フレーズ一塊の最後で余韻を完全に聴かせたい場合にも有効です。

MarcatoテクニックにおけるReleaseコントロールは、TIMEDのリリース（ノート全長がホールドされていない状態）のフィーリングをコントロールします。Releaseを下げると、TIMEDリリースがよりスナッピーになります。ノート長をフルにホールドすると、フルレンジで鳴ります。

付録

FAQとトラブルシューティング

Q: システム要件は何ですか？

⚠️ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

Q: プラグインの設定をデフォルトに戻したいのですが。

以下のディレクトリにある.settingsファイルを削除して、設定をデフォルトにリセットできます。

Mac

Users/<ユーザー名>/Music/Spitfire Audio

Windows

C:\Users\<user>\name\AppData\Roaming\Spitfire Audio

Q: プリセットのリストが空です。

ライブラリ・フォルダを移動した場合、Spitfire Audio Appの**Locate Library**機能を使用することで解決できます。ライブラリの再認証が必要な場合、Spitfire Audio Appの**Repair**機能を使用してください。

Q: ライブラリ左上に赤い感嘆符 (!) が表示されています。

感嘆符をクリックすると詳細なログが表示されます。Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用して問題が解決する可能性があります。解決しない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム (英語) までご連絡いただき、ログを添付してください。

Q: 複数台のコンピューターへのインストール。

弊社製品には2つのライセンスがあり、メインとモバイルの2台のコンピューターにダウンロード、インストールできます。ライブラリをハード・ドライブで購入された場合、Spitfire Audio Appでダウンロードを完了する前に、ドライブの内容をインストール先のマシンにコピーしてください。ライブラリをダウンロードした場合は、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用してください。

Q: Kontaktのサイド・パネルにライブラリが表示されない。


Spitfire Audio独自のアプリ (スタンドアローン、プラグイン) は、KontaktやNative Access上で表示されません。

Q: インターネットに接続されていないマシンでのライブラリ認証。

インターネットに接続されていないマシンでは当該ライブラリを認証できません。認証はインターネット接続されたマシン上でSpitfire Audio Appを通じて行います。

Q: 製品の再ダウンロード方法。

Spitfire Audio Appから行えます。ライブラリ全体のダウンロード、または最新のアップデートの両方をリセットする方法は次の通りです。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、**Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。所有するすべてのライブラリについて、このプロセスを繰り返せます。

一定時間内にダウンロードをリセットできる回数には制限があります。リセットの制限を超えた場合は、ご連絡ください。

Q: ダウンロード／インストールの問題

ダウンロードの過程で問題が発生する場合があります。その場合、以下をご確認ください。

- ドライブのフォーマットがFAT32の場合、4GB以上のファイル・サイズは制限されているため、弊社の大きなダウンロード・ファイルがエラーの原因となります。ドライブを再フォーマットするか、別のドライブを使用してください。PCではNTFS、MacではMac OS Extendedをお勧めします。
- 私たちのライブラリが非常に大きなファイルであるため、Spitfire Audio Appが圧縮ファイルの展開やドライブへの配置を行うにあたり長い時間を要することがあります。クラッシュしたのか、ファイルの処理中かが判断しきれない場合は、インストール開始時に選択したインストール・フォルダにアクセスしてください。すべてが正常に動作している場合は、フォルダ (またはそのサブフォルダの1つ) にさまざまなファイルが表示されます。
- もしダウンロードが止まってしまったり、中断したまま再開されない場合は、spitfireaudio.com/support のサポートチーム (英語) まで、お使いのオペレーティング・システム、お住まいの国、自宅か職場か、お使いのISP、お使いのコンピュータとインターネットの間にプロキシ・サーバーやファイアウォールがあるかどうかを合わせてお知らせください。

Q: ダウンロード速度について

私たちのライブラリはAmazon S3サーバーでホストされており、通常は非常に高速ですが、トラフィックが特に混雑する特定の時間帯に、ISPが接続速度を制限する可能性があります。

混雑の少ない時間帯にダウンロードを実行したままにしておくことで十分なダウンロード速度を期待できます。Spitfire Audio Appのダウンローダーは可能な限り帯域幅を使用し、最速の速度を提供することを目的としており、ピークに達するまでに数分かかる場合があります。

Q: 購入前のデモについて

現在、製品のデモは提供していません。

私たちのYouTubeチャンネルにアクセスすると、私たちのすべての製品に関する詳細な情報を含む多くのウォークスルーを見ることができます！

Q: Spitfire Audio Appにライブラリが表示されません

Spitfire Audio Appにログインして、**Installed**にも**Download Ready**にも購入済みの製品が表示されない場合、別のメール・アドレスで購入された可能性があります。過去に購入した他のメール・アドレスを確認すると、見つからない製品が見つかるかもしれません。そうではなく、数年前に購入された製品である場合は、サポート・チケットを作成し、お客様のアカウントのメール・アドレスと、紛失した製品に関連するシリアル番号をお知らせください。また、複数のアカウントを統合して、購入された製品をまとめることも可能です。

より多くの情報があればあるほど、迅速な復旧が可能となります！


Q: 製品のアップデート方法

弊社製品のダウンロードは、Spitfire Audio Appが選択したフォルダにダウンロードされることが大前提です。弊社製品に最適なファイル・パスはシンプルです。ただし長いファイル・パスを指定した場合はエラーの原因となることがあります。サンプル・ドライブ > Spitfire Audioのようなパスが理想です。

またダウンロードやアップデート時、Spitfire Audio配下の実際のフォルダを指定せず、Spitfire Audioフォルダ自体を必ず指定してください。

Q: 最新のアップデートの再ダウンロード方法

Spitfire Audio Appに、ダウンロードをリセットする機能が追加されました。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から**Reset**を選択し、**Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または**Latest Update**を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。

他のアップデートについても、このプロセスを繰り返すことができます。

Spitfire Audio Appにダウンロードをリセットするオプションが表示されない場合は、spitfireaudio.com/info/library-manager/から最新版のアプリをダウンロードしてください。

Q: ダウンロード・リンクがなかなか送られてこない

当社では、すべての注文はまず不正チェック処理を経由しており、処理に20分ほど要します (ブラック・フライデーなどの繁忙期には1時間ほどかかることもあります)。この段階で注文が引っかかった場合、手動で注文チェックを行うため、注文処理は最大で24時間遅れる場合があります。

ご注文後、すぐに送付される注文確認メールは、お客様のご注文が弊社システムに正常に記録され、お支払いが正常に行われたことを確認するものです。サポートにご連絡いただく前に、迷惑メール・フォルダのご確認もお忘れなく。

Q: 異なるOS間でのデータの転送

はい、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio App の**Repair**と**Locate Library**機能を使用できます。ダウンロードの大部分は別のマシンで行えますが、認証プロセスを完了するためにはインターネット接続が必要である点にご注意ください。

Q: Mac OSX 10.9でのダウンロード

本製品のインストールに必要なSpitfire Audio Appは、Mac OSX 10.10以降にのみ対応しています。

Q: バグの報告

バグを発見された場合は、関連する情報を添えてご連絡 (英語) ください。

- 見つけたバグの説明
- バグが発生しているスクリーン・キャスト (ビデオ)、またはオーディオの例
- プリセット名やライブラリ名など情報が詳細であるほど、問題の真相を究明するのに役立ちます。

Q: 払い戻し／返品ポリシーについて

ダウンロード／インストール・プロセスを完了しておらず、14日以内に購入された場合は、返金／返品が可能です。まだシリアル番号を登録していない場合であってもインストールを完了された場合、返金と返品をお受けできません (使用許諾契約をご確認ください)。ハードディスク・ドライブのご注文の返金は、ドライブが弊社から発送される時点まで可能です。これは通常、ご注文から数日を要します。

Q: パスワードを忘れてしまいました

パスワードをお忘れの場合は、spitfireaudio.com/my-account/login/の[forgot your password?] (またはこれに該当する日本語表記) をクリックしてください。もし過去に2つ以上のアカウントの統合を依頼したが忘れてしまった場合、統合を依頼されたメール・アドレスでパスワードの再発行が機能しない可能性があります。この場合は、お名前と、弊社が知っていると思われるメールアドレスをサポートまでご連絡ください。

デフォルトのCCマッピング

CC#1	ダイナミクス
CC#7	グローバル・ゲイン
CC#10	グローバル・パン
CC#11	エクスプレッション
CC#18	タイトネス
CC#19	リバーブ

⚠ お使いのDAWや環境によっては、上記デフォルトのMIDI CC (コンティニューアス・コントローラ) と動作が合致しない場合があります。必要に応じて、環境にあった設定に調整してください。



Abbey Road Orchestra: Basses 日本語マニュアル

2024 ©Crypton Future Media, Inc. 2024/NOV issue
2024 ©Spitfire Audio Holdings Limited All Rights Reserved.

本書の一部またはすべてを、Spitfire Audio Holdings Limited、またその日本総代理店であるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社に無断で複写、複製、転載、翻訳する事を禁じます。内容は予告無しに変更される場合があります。本書に記載されている会社名、商品名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

国内販売元: クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
ホームページ: <https://www.crypton.co.jp/>